

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 市民スポーツ活動の充実
 基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 **江別市体育協会補助金**

[0507]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 江別市体育協会
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 競技力の向上 競技スポーツをする人の増 競技スポーツを指導する人の増と資質向上
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 体育協会の5事業に補助をしている。 ・加盟競技団体交付事業 ・市内開催全道大会助成事業 ・管内スポーツフェスタ参加事業 ・競技団体毎のジュニア育成事業 ・指導者養成事業

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	加盟団体数	団体	25	25	25	25
対象指標2	加盟人数	人	9,649	9,448	8,536	9,500
活動指標1	補助金額	千円	1,597	1,473	1,528	1,409
活動指標2						
成果指標1	主催 共催事業実施数	事業	5	5	5	5
成果指標2	有資格指導者数	人	453	311	441	311
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	1,597	1,473	1,528	1,409
正職員人件費 (B)		千円	830	806	803	809
総事業費 (A) + (B)		千円	2,427	2,279	2,331	2,218

費用内訳	
23年度	負担金 補助及び交付金 1,528千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由
・
根拠は？

競技スポーツの活性化は、スポーツ界全体の活性化につながり、市民がスポーツに親しむ機会が増えることから、その基盤整備の一環としての市の補助は妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

本市からトップレベルの選手が輩出することで、市民のスポーツに対する関心が高まり、スポーツを始めようとする動機付けとなることから、貢献している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由
・
根拠は？

本市では、少年団や各種スポーツ分野において一定の登録指導者がおり、各競技種目において全道・全国大会に予選を突破して出場することが多く、競技スポーツのレベルが維持されている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

競技別の指導者養成に力を入れ、けん引役としての指導者を増やすことで、スポーツ人口の増加が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由
・
根拠は？

既に補助対象であった大会について見直しを行っており、これ以上の削減は競技スポーツのレベル低下につながるおそれがある。